



企画展  
 ひろ き  
 加納溥基コレクション+  
**備前焼に  
 魅せられて**

～土と炎～

2022

1/12(水)～4/10(日)



同時開催  
 教科書掲載  
 記念企画展

- 開館時間／午前9時～午後4時半  
 (入館は午後4時迄)
- 会期中の休館日／毎週火曜日  
 (祝日の場合は翌日)
- 入館料／一般1100円  
 団体900円(20名以上)  
 高校生・大学生550円  
 \*小・中学生無料
- \*新型コロナウイルス感染症状況により、変更や中止の場合もあります。
- \*身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方一名は無料。

! 感染症予防のため、入館時にはマスク着用、検温等にご協力いただきますようお願い致します。また、人数制限を行う場合があります。詳しくは美術館までお問い合わせください。

\*作品名は裏面にあります

主催：安来市加納美術館、TSKさんいん中央テレビ 共催：安来市教育委員会  
 後援：安来市、安来市文化協会、広瀬町文化協会、山陰中央新報社、中国新聞社、新日本海新聞社、山陽新聞社、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、BSS山陰放送、やすぎどじょっテレビ、中海テレビ放送、エフエム山陰、DARAZ FM (順不同)

入館割引券  
 100円引  
 10歳未満の児童・幼児は無料

安来市加納美術館  
 YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部345-27  
 Tel:0854-36-0880 <https://www.art-kano.jp>  
 E-mail: info@yasugi-kano-museum.com



# 企画展 加納溥基コレクション+ 備前焼に魅せられて

藤原雄「播座線紋花器」



■安来市加納美術館は、2021年11月に開館25年を迎えました。開館当初は日本でも有数の備前焼の収蔵を特徴としていました。25年を記念して初心に帰り「備前焼に魅せられて 土と炎」と題した展覧会を開催いたします。

■備前焼は日本六古窯(瀬戸、越前、常滑、信楽、丹波、備前)の一つです。平安時代の末から始まる備前焼は、無釉で高温で焼きしめるのが特徴。古くからつぼやかめ、すり鉢など実用陶器として人々に親しまれてきました。炎により偶然に発生した模様などが味わい深く、茶の湯が盛んになった桃山時代には茶陶として珍重されました。いまなお、土と炎の共作ともいえる備前焼は、人々の心をつかんで放しません。

■当美術館の創設者加納溥基が収集した加納溥基コレクションに加えて、現在活躍中の作家の作品も合わせて展示し、伝統を引き継ぎながら未来へと続いていく備前焼とその魅力を皆様にご覧いただきたいと思っています。

## 加納溥基と備前焼

実業家であった加納溥基は、父親である加納莞菴の作品を展示するための美術館建設に着手するが、より魅力的な美術館にするため、ゆかりの地である岡山県の焼き物である備前焼の名品を収集する。その魅力を初めて感じ、収集のきっかけとなったのが、藤原雄の作品「播座線紋花器」との出会いであった。

約2年という短期間の収集期間のうちに備前焼に強く魅せられていき、同時に優れた目利きとしても成長した。当館の所蔵する備前焼作品は総数800点あまり。その中でも名工金重陶陽の作品を100点以上もつという、国内でも貴重なコレクションである。

尚、備前焼以外では、代々の楽吉左衛門ほか、著名作家の抹茶茶碗作品、岡山県出身の日本画家小野竹喬、池田遙邨の作品がコレクションを成す。

## 表面掲載作品名

- ① 古備前「耳付罅口水指」
- ② 藤原啓「松竹梅透大徳利」
- ③ 古備前「播鉢(海揚がり)」
- ④ 山本陶秀「水注」
- ⑤ 金重陶陽「諫鼓鳥香炉」
- ⑥ 藤原雄「播座線紋花器」
- ⑦ 山本陶秀「緋罽茶碗」
- ⑧ 金重陶陽「水指(即中斎書付)」

会期中の催し

## 学芸員による ギャラリートーク

当館職員が作品説明をいたします。

要予約  
各20名  
限定

1/15(土) 11:30~ 14:00~  
2/13(日) 11:30~ 14:00~  
3/21(月・祝) 11:00~ 14:00~

！ 感染症予防のため、入館時にはマスク着用、検温等にご協力いただきますようお願い致します。また、人数制限を行う場合があります。詳しくは美術館までお問い合わせください。

同時開催

## 教科書収載記念企画展

### かんらい 「加納莞菴の想い 次世代に」



フィリピンのキリノ元大統領と握手する莞菴 1955年

安来市出身の画家加納莞菴(1904~1977)は、戦後日本人フィリピンBC戦犯の助命嘆願書をフィリピン大統領はじめ、世界の要人たちに送り続けました。その活動は世界の恒久平和への希求へと発展し戦犯解放後もずっと続けました。莞菴の活動は今、中学歴史教科書にも記され、次世代につながっていています。莞菴の平和への想いを絵画作品と資料を通じてごらんください。



レストラン  
やまやを  
併設しています。  
火曜日定休日  
(祝日の場合は翌日)



安来市加納美術館  
YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部345-27  
Tel:0854-36-0880 <https://www.art-kano.jp>  
E-mail: info@yasugi-kano-museum.com



入館割引券  
100円引  
※入館料:500円  
※観覧料:100円  
※入館券:100円